

令和元年度 会派調査研究報告書

(視察先 1 箇所につき 1 枚)

会 派 名	石 合 祐 太
事 業 名	SDG s 勉強会「SDG s から地域づくりを考える会」
事 業 区 分	①研究研修 ②調 査

1 上田市での課題と研修・調査の目的

国連が 2015 年に設定した「持続可能な開発目標」がサステイナブル・デベロップメント・ゴールズの頭文字から SDG s と呼ばれている。日本での実施体制として、2016 年 5 月の 20 日に内閣に持続可能な開発目標 (SDG s) 推進本部を設置し、その年の年末に実施指針を決定されている。

SDG s では、持続可能な世界を実現するため、貧困をなくそうや飢餓をゼロにというような 17 のゴールと 169 のターゲットを定め、これらの目標の達成に向けた進捗状況を計測するため、約 230 のインディケーター、いわゆるゴールやターゲットの速度をはかるための指標が設けられている。

SDG s の取り組みの先行例として、環境モデル都市と環境未来都市の取り組みがある。国は、これらの環境モデル都市と環境未来都市を一体的に推進することで、環境未来都市構想の理想とする都市の実現をめざしている。また、この環境未来都市構想をさらに発展させた SDG s 未来都市・自治体 SDG s モデル事業があり、中長期を見通した持続可能なまちづくりに取り組んでいる 29 の都市がこの未来都市として選定されており、長野県も学びと自治の力による自律・分散型社会の形成をテーマに選定され、選ばれている。また、その中で特に先導的な取り組み 10 事業がモデル事業として選定され、取り組みの支援及び成功事例の普及展開等がされている。

上田市としても自治体 SDG s に取り組む状況を整理し、適切な対応を取る必要があることから今回の研修の内容を活かしたい。

2 実施概要

実施日時	研修先	第 1 回 SDG s 勉強会 事務局：風土考房トナカイ
令和元年 7 月 23 日 (火) 19 時 - 21 時	会 場	塩尻市市民交流センター 301 会議室

3. 研修の内容

講師：株式会社エイブルデザインCSRエキスパート 渡辺勉氏

(1) SDGsの歴史

- 1972年 国連人間環境会議（国連で初めて環境問題の議論）
- 1987年 オゾン層破壊物質に関するモントリオール議定書採択
- 1992年 国連環境開発会議（地球サミット）で持続可能な開発の実現に向けた国際行動指針「アジェンダ21」、リオ宣言、気候変動枠組条約などを採択
- 1997年 気候変動枠組条約第3回締約国会議－COP3、京都議定書
- 2000年 国連ミレニアム開発サミットで2015年までの15年間の開発目標MDGs（ミレニアム開発目標）採択
- 2012年 国連持続可能な開発会議（リオ+20）でSDGsの策定が合意
- 2015年 国連サミットでSDGs「我々の世界を変革する持続可能な開発のための2030アジェンダ」採択
気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）途上国も対象とする国際目標「パリ協定」に合意

(2) SDGsのキーワード

- 一. 一部の住民のためではなく、誰一人取り残さない！
- 一. 強力なリーダーに頼ることなく、住民主体で取り組む！
- 一. 地域づくりを他人事としてではなく、自分事として！

(3) SDGs 17のゴール（あるべき姿）



今回の勉強会は、特に11「住み続けられるまちづくりを」、17「パートナーシップで目標を達成しよう」をメインに学習した。このゴールのもとに169のターゲット（目標・手段）、244の指標（重複を省くと232、ターゲットの進捗を図る指標）が設定されている。

(4) SDG s の必要性

イ. 地球の健康状態の悪化

①生物多様性の危機、②森林の減少、③平均気温の上昇、④海水温度の上昇…

ロ. グローバリゼーション経済発展の限界

①グローバリゼーション経済による地域経済・文化の衰退

②採取・搾取経済による社会のゆがみ・ひずみ

ハ. 70 億人の需要が地球の供給力を上回る

・世界は生産できる量の 50% も多く消費している

それに伴い、食糧の生産量は約 2.5 倍に、水の使用量は 2 倍に、パルプと紙の生産のための木材伐採量は 3 倍に増えている。

ニ. 格差社会が生むひずみと紛争

ホ. 無くならない人権問題

⇒このままでは、持続可能ではない。変革が必要。

(5) SDG s のポイント

イ. 先進国の人たちのライフスタイル

ロ. 気候変動・格差社会の拡大など、普遍的テーマに取り組む

ハ. 国も、地域も、みんなが力をあわせて取り組む

ニ. 誰一人取り残さない

(6) SDG s へのアプローチポイント

イ. 未来の目線で今を見ることの重要性 (バックキャストイング)

ロ. 総合的・包括的に課題を考えることの重要性

ハ. 変革とスリム化の重要性

⇒包括的な取り組み。「女性の活躍推進」は目標 5 「ジェンダー平等を実現しよう」、「働き方改革」は目標 8 「働きがいも経済成長も」に該当する。

(7) SDG s に向けた取り組み

イ. ダイベストメントー取引口座を変えることで銀行に意思表示

気候変動を促進するような事業に投資している銀行から預金を引き上げ、そうでない銀行に移すアクション。アメリカの NGO の 2012 年の開始から既に 650 億円の動く大きなものとなっている。

ロ. 駿河湾のサクラエビ

1960 年代前半までは 1 年中漁を行い、60 年代半ばには漁獲量が半減した。

そこで、春と秋の 2 回に制限するとともに捕れた船も捕れない船も売上金を平等に分配する「プール制」を導入。また、1 年間で捕る量をその年に生れるエビの数で推測して決めること。

ハ. 徳島県上勝町「ゼロ・ウェイスト宣言」

未来の子どもたちにきれいな空気やおいしい水、豊かな大地を継承するため、2020 年までに上勝町のごみをゼロにすることを決意し、上勝町ごみゼロ

を宣言。宣言から 15 年。焼却炉閉鎖から 18 年。環境大臣宛てに「2020 年ごみゼロを目標にした『資源回収に関する法律（仮称）』の制定について」を提言（平成 16 年）

ニ. 姫路市を中心に 8 店舗を経営するスーパーヤマダストアーの広告

恵方巻の大量廃棄の報道に触れ、売れる分だけお店で巻いていることを強調した広告。

(8) それぞれのSDGs

イ. 世界

国連が思い描く理想の世界実現のための参考リスト。

ロ. 国

SDGs の推進実行母体。進捗状況を測る物差し。

ハ. 企業

「社会の要請であり期待」の具体的な参考リスト。

ニ. 地域社会

様々な課題に対し、分断をまとめつながりやアクションを生み出すために人々が通じ合うためのコミュニケーションツール。

ホ. 市民

自分や家族のライフスタイルを見つめなおすための参考リストであり、心や暮らしを豊かにするための手引き。

【まとめ・市政に活かせること】

地球規模で起きている出来事を俯瞰し、あるべき未来像を描いていくための指標としてのSDGsの位置づけを認識できた。

第二次上田市総合計画後期まちづくり計画、上田市まち・ひと・しごと創生総合戦略に理念を取り入れることが求められる。

SDGsの推進に向けた地方公共団体の取り組みが1%にとどまっているという内閣府の調査もあり、今後国や県の動向も注視しつつ地域社会において実効ある施策を打ち出す視点としてSDGsを位置付けていくことを今回の研修で得た視点を参考にしながら、提言していきたい。

